

桑名の あうるさんの

声を聞く

図書館では2011年4月から“図書館で見つけた！輝く人”を利用者の方から抜擢(ぼつてき)し、「桑名のあうるさん※」として図書館のPR活動に協力してもらっています。



※あうる(OWL ふくろう) ローマ神話のなかで、ふくろうは知性、学問の象徴(しょうちょう)

第一回の“図書館で見つけた！輝く人”は図書館の資料・情報等を活用する『図書館を使った調べる学習コンクール』全国大会入賞者の **神谷野々花さん** と **水谷彩さん** です。

桑名のあうるさんってどんな人？

Q.1 今がんばっていることやがんばりたいとおもっていることは？

Q.2 「あうる=ふくろう」は知性、学問の象徴とされています。ふくろうにどんなイメージを持っていますか？

Q.3 図書館はどんなイメージ？



神谷 野々花 さん



- A.1 学校のぜん校せいと653人の名前をおぼえたいです。
二重とびをれんぞくで20回い上とびたいです。
Jボードをうまくすべれるようになりたいです。
- A.2 小さいころに読んだ『ノンタンおやすみなさい』の本の中に、ふくろうさんかてきたことをおぼえています。
ふくろうは夜の森のみはり番というイメージがあります。
- A.3 図書かんに入るといつも「どんな本をかりようかな!？」と思います。
図書かんは「本のおうちみたいだな」と思います。
本をかりるときには図書かんの子どもたちを、私の家へ連れていくような気持ちになります。
図書かんの図という字を習ったとき、左に書いた絵のようなイメージをもちました。



水谷 彩 さん

- A.1 中学生になったら勉強もむずかしくなります。
吹奏楽部に入り、勉強と部活の両立を頑張ります。
- A.2 フクロウ・・・沢山の知識をもって、静かであたたかく森を守る。
- A.3 子供から大人までルールを守り合い、読書を楽しんだり、知識を得るための便利な場所。
そして、みんなが「あうる」に近づける場所。